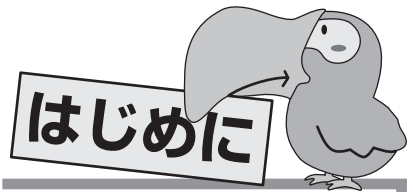




本書の特長と使い方



論理力を鍛える魔法のトレーニング ろんり de 国語

ジャンプ



国語は全ての科目の基礎で、国語力や論理的思考力を高めれば、全ての科目の成績を引き上げることができると言われています。また、それらの力は、これからの時代にますます必要とされています。

このテキストはそれらの力を育成・強化するために何年もかけて作られたものです。そして、「これを利用すれば、確かな国語力と論理的思考力が習得できる」ことが実証されています。このテキストで学ぶにあたって皆さんは次のことに留意してください。

このテキストの使い方

① ホップやステップをしっかりと復習する

ジャンプのテキストは、ホップやステップの学習を完了させた人の利用を考慮して作られています。そのため、このテキストが難しいと感じる人は、

まずホップかステップから学習をスタートさせてください。また、ホップやステップの学習を完了させた後、このテキストに挑戦する場合は、今までの学習でミスしたところをもう一度解き直すなどの復習をしてから始めましょう。

② 説明をしっかりと読む

〔基本の学習〕があるところは、まずそれをしっかりと読んで理解しましょう。大切なところに赤線を引きながら読むのもよいでしょう。

③ トレーニングの問題に挑戦！

〔基本の学習〕がなく、すべてトレーニングの問題に取り組むというページもあります。ホップとステップをしっかりと学んできたあなたなら、それでもきつ

とできるはずです。その際、字は一字一字丁寧に書きましょう。

④ 総合問題に挑戦！

ステージ5と6は総合問題となっています。今までのしっかりと学んできたあなたなら、きつとできるはずです。今までの知識を生かして挑戦しましょう。

⑤ 物語トレーニングに挑戦！

最後は、長い物語文による総合練習です。会話の主人公はだれか、などについて考えながら答えをきましょう。

⑥ トレーニングノートの利用

このテキストには別冊として、トレーニングノートがあります。このノートを使ってこのテキストを何回か繰り返し返すとさらに力がつきます。

▼このテキストをやりとげれば、あなたは『ろんり de 国語』の達人です。自信をもって、さらにいろいろなテキストに挑戦していきましょう。



ろんり de 国語 ジャンプ

もくじ



ステージ 1 主語と述語 4

- トレーニング① 主語・述語が二組ある文 [1] 4
- トレーニング② 主語・述語が二組ある文 [2] 6
- トレーニング③ 主語と述語をつないで書く 8
- トレーニング④ 文章中にある主語をとらえる 13

ステージ 2 助詞 20

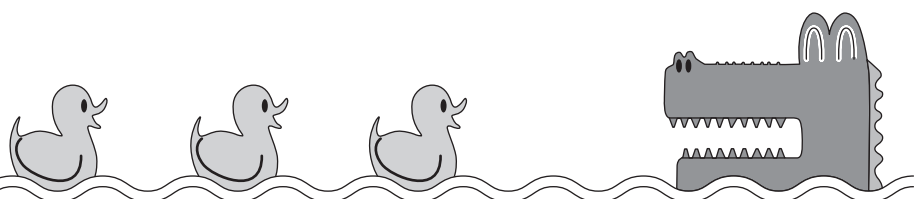
- トレーニング① ばらばらの文節の並べかえ問題 [1] 20
- トレーニング② ばらばらの文節の並べかえ問題 [2] 22
- トレーニング③ ばらばらの文節の並べかえ問題 [3] 25

ステージ 3 接続語 28

- トレーニング① 適切な接続語の選択 [1] 28
- トレーニング② 適切な接続語の選択 [2] 29
- トレーニング③ 適切な接続語の選択 [3] 30
- トレーニング④ 接続語を記号で選ぶ 31

ステージ 4 上質な文章を書く 32

- 〔基本の学習①〕よく使う話しことばを書きことばに直す 32
- トレーニング① よく使う話しことばを書きことばに直す 36
- 〔基本の学習②〕「ら抜き」「い抜き」ことばは使わない 36



トレーニング② 「ひ抜き」「い抜き」ことばは使わない

〔基本の学習〕③ 漢字でなくひらがなで書くことば

トレーニング③ 漢字でなくひらがなで書くことば

〔基本の学習〕④ 書きことばに使う接続語

トレーニング④ 上質な接続語の利用

トレーニング⑤ 上質な文章を書く『総合演習』

ステージ 総合問題 (1)

トレーニング① 主語・述語・修飾語を中心とした総合問題 (1)

トレーニング② 主語・述語・修飾語を中心とした総合問題 (2)

ステージ 総合問題 (2)

トレーニング① 接続語・指示語を中心とした総合問題

トレーニング② 物語文を含む総合問題

ステージ 物語トレーニング

トレーニング① 貴重な会話

トレーニング② 父母への想い

トレーニング③ けんか仲間直し

トレーニング④ 友との別れ

トレーニング⑤ 祖父のお出かけ

107 102 98 92 88 84 70 60 52 45 40 38



ステージ
4
上質な文章を書く

基本の学習 <1> よく使う話しことばを
書きことばに直す

左の上の段にある接続語は、話しことばとしてよく使われま
すが、書きことばとしては、ふさわしくありません。それらを
書きことばに直すときは、下の段の接続語を使いましょう。
そのついで、より上質な文になります。

- [主な話しことば] [主な書きことば]
- 〜だから ↓ 〜のため
 - 〜とか…とか ↓ 〜や…なぐらい
 - 〜するとか…するとか ↓ 〜したり…したり
 - 〜だし…だ ↓ 〜で(あり)…た、〜だから…だ
 - 〜したし、…した ↓ 〜し、…した
 - (青) いい(くて)、 (白) いい ↓ (青) く、 (白) い
 - なんで ↓ なぜ
 - 〜しないで ↓ 〜せ

これができたら、あなたは文章の達人だよ！



学習日

/

- 普通に ↓ 本当に、実際に、上手に、平気で
- 〜なんだ ↓ 〜なのだ、〜である
 - 〜するんだ ↓ 〜するのだ
 - 〜しちゃいけない ↓ 〜してはいけない
 - 〜しなきゃならない ↓ 〜しなくてはならない
 - 〜しといた ↓ 〜しておいた
 - 〜だって思った ↓ 〜と思った
 - 〜なんてことは ↓ 〜などということば
 - 〜とか(苦手)だ ↓ 〜は(が)(苦手)だ
 - 〜するんだろう ↓ 〜するのだろう

トレーニング 1 よく使う話しことばを
書きことばに直す

学習日

/

次の文や文章を、まず声に出して読みましょう。次に、直すべき
ところに線をつけ、文全体を書き直しましょう。また、話しこと
ばは書きことばに直しましょう。直すべきところは一つは限りま
せん。

▼ ④
なんで母はぼくをそんなに厳しく叱るんだろ。

▼ ③
風邪をひきやすい、こたつで眠っちゃいけない。

▼ ②
ぼくは、算数とか苦手だし、スポーツも不得意なんだ。

▼ ①
努力もしないで、そのテストで満点を取ろうなんてことは、考えが甘い。

▼ ⑧
このスニーカーは大きくて、重いので、持ち上げられない。

▼ ⑦
海は広いし、美しいので大好きなんだ。

▼ ⑥
今日はお母さんが忙しそうだったし、犬の散歩をすませといた。

▼ ⑤
友達がサッカーの試合に出るので見に行ったら、彼は普通に上手だった。

ステージ
6
総合問題
(2)

これをやり遂げればあなたは立派な国語の達人よ！



学習日

トレーニング
1

接続語・指示語を
中心とした総合問題

学習日

〔1〕次の文章を読んで、後の問いに答えましょう。

地球温暖化によって、北極の氷がとけると海面が上りようすのこと
 いう説があるようだ。〔 ① 〕、アルキメデスの法則から考えれば、
 ②その説は嘘であることが分かる。

問1 ①に入る接続語を次のア～エから選びましょう。

- ア しかし
- イ したがって
- ウ たとえば
- エ そして

問2 ②の「その説」とはどんな説ですか。本文中から抜き出して、
 二十五字以内で答えましょう。

〔2〕次の文章を読んで、後の問いに答えましょう。

タミは／その種類によって／時間の差は／あるもの／本来は／
 日中／鳴くが／現在の都会では／夜中に／タミの／大合唱が／
 聞こえることも／珍しくない。③その原因は／都会の／夜間温度の／
 高さ／「リビング」を／始めとする／お店の／照明によって／夜
 ④でも／昼間のように／明るくなって／しまったことが／挙げられ
 る。

問1 ①に対する**主語**を答えましょう。

「 』

問2 ②の**主語**となる文節を抜き出して、七字以内で答えましょう。

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

問3 ③「その原因」とは何ですか。「原因」という形で十字以
 内で答えましょう。

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

問4

④の**主語**となる文節を抜き出して、五字以内で答えましょう。

〔3〕次の文章を読んで、後の問いに答えましょう。

大正七年七月七日に生まれた人は、平成七年七月七日に七十七歳の誕生日をむかえたそうだ。①こんなことを知っていても、テストの成績アップには役立たないが、友達同士で会話するときのねたに
はなるだろう。②（ ）こんなことでも無駄な知識ということにはならない。

問1

②に入る接続語を次のア～エから選びましょう。

- ア また
- イ したがって
- ウ たとえば
- エ そして

--

問2

①「こんなこと」とはどんなことを指していますか。文中のここはを使って、四十五字以内で書きましょう。

〔4〕次の文章を読んで、後の問いに答えましょう。

人と話をしているときに「いつも私が感じていることは、人は自分のことについては話したが、相手のことを知ることについてはまるで無関心だ」ということだ。

①この事実を知ると、相手を満足させることができる会話の秘訣が見えてくる。それは②（ ）相手が思わずごんごんしゃべり出さなくなるような適切な質問をするということだ。

問1

①この事実とはどんなことですか。文中のここはを使って、五十字以内で書きましょう。

問2

②に入る接続語を次のア～エから選びましょう。

- ア むしろ
- イ だから
- ウ つまり
- エ しかし

--